



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2012-2013年度 R I 会長 田中 作次

●クラブテーマ「調和・Balance」●



第2590地区 ガバナー
露木 雄二

- 会長 飯田 泰之
- 会長エレクト 伊東 英紀
- 副会長 山田 正憲
- 副会長 吉田 隆男
- 幹事 西山 潔
- 副幹事 山本 芳弘
- 会計 朝日 達夫
- 副会計 金森 欣一
- S A A 横溝 亘
- 副 S A A 矢野 修二
- 副 S A A 河野 明光
- クラブ会報 森 永 健



写真提供 小池将夫会員

事務局 ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555

例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)

例会場 ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和51年5月29日

URL <http://www.kanagawahigashi.com/>

E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

2012-2013年度 第39週報 No. 1786 2013年(平成25年) 4月26日 第1786回例会記録 5月10日発行

司会 山本 芳弘 副幹事

点鐘 飯田 泰之 会長

斉唱 「手に手つないで」

四つのテスト 長井 章 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

誕生日祝 山崎 善也 会員 (4月29日)

結婚記念日祝 藤橋恒一郎 会員 (4月28日)
梅崎 興生 会員 (5月4日)



本日〈5月10日〉のプログラム

- ◆ 斉唱 「君が代」「奉仕の理想」
- ◆ 献立 鮪の山かけ御膳
- ◆ 卓話 「ブラジルにおける日系人と韓人の食文化、そしてロータリークラブ」
ロータリー-米山奨学生 李 徳雨 様

会長報告

飯田 泰之 会長

・米山梅吉記念館100円募金のお礼状が来ておりますので回覧します。

幹事報告

天野 公史 直前幹事

- ・5月よりロータリーレートが94円→98円に変更になります。
- ・次週5月3日は祝日の為休会となります。また、事務局は4/30～5/2もお休みとなります。
- ・次々週5月10日、5月度定例理事会を開催します。
- ・本日、ボックスに次年度の組織表と年間プログラムを配布致しました。

出席報告

竹山 洋 出席委員長

会員総数	54名	(37+17)名	
出席会員数	39名	(27+12)名	
出席率	79.59%		
ゲスト	0名	ビジター	0名
前回補正後	90.00%	前々回補正後	94.23%

スマイルボックス 横溝 亘 SAA

- 山崎善也君 誕生日のお祝い、ありがとうございます。
- 梅崎興生君 結婚記念祝いを頂き、ありがとうございました。41回目ですが、金婚式、ダイヤモンド婚式まで頑張りたいです。
- 飯田泰之君 小池P P、本日の卓話、よろしくお願ひします。釣りに写真にプロ級のセンスには感服します。
- 青柳 紀君 別れた女房が今日帰りますので！たぶん・・・。
- 月山 勇君 先日の次年度理事・役員・委員長会議では、次年度の会長・幹事の伊東さん、山本（芳）さんにはお世話になりました。余すところあと2ヶ月でヨーイドンです。荒波は私の念仏で鎮ませておきますから安心してスタートして下さい。でも、気分次第では荒波も・・・。
- 山本 登君 風邪ひいちゃいました。鳥インフルではありません。
- 山田富雄君 皆様、楽しい連休を！
- 江森国一君 ①加藤さん、昨日は色々とお世話になりました。②ジャンボはエイジシュート、長井さん、ハーフでエイジオーパーですか？でも優勝おめでとう！
- 伊澤政宏君 ①先日は次年度理事・役員会の打合せ会に参加の皆様、ご苦労様でした。②天野様、角田様、白鳥様、矢野様、遅くまでお付き合いありがとうございました。佐藤様、お世話になりました。
- 山本芳弘君 火曜日、理事・役員・委員長会議ご出席の皆様、ありがとうございました。次年度もどうぞよろしくお願ひ致します。
- 山田正憲君 ①小池さん、卓話、楽しみにしています。②暖かくなりましたネ！

天野公史君 次年度理事・役員・委員長会議出席の皆様、お疲れ様でした。活発な良い年度になりそうですね。2次会はそれぞれに楽しんだみたいですね。佐藤さん、お世話になりました。

田中龍太郎君 先日の父の葬儀に際しまして、皆様にお世話になりました。ありがとうございました。

小山市康君 小池P P、本日はありがとうございます。釣りの世界を楽しく聞かせて頂きます。

高瀬伸一君 先週は結婚記念のお祝いをお送り頂きありがとうございました。17年経ちました。

横溝 亘君 ①本日は、所用があり早退させて頂きます。②先日の次年度理事・役員・委員長会議、欠席して申し訳ありませんでした。

4月26日	16件	90,000円
本年度累計		1,848,000円

卓話

「開高 健」の釣りの世界

小池 将夫 会員



世界中で何千万人の人が魚釣りを楽しんでいます。その中で、魚釣りのプロと称され、「魚釣り雑誌」や「TVの番組」でその活躍ぶりが紹介されている人もいます。つまり、自称プロを含めると沢山のプロフェッショナルな方々がおられるわけです。

また、職業的には有名な文筆家の方に魚釣りの好きな方がいて、魚釣りに関する多くの書物が残されています。釣り好きなアメリカ人の小説家「アーネスト・ヘミングウェイ」が、年老いた漁師がたった一人でメキシコ湾沖で巨大カジキと格闘する様を描いた「老人と海」は世界的なベストセラーになり、1954年、ノーベル文学賞を受賞しました。

クラブニュース

台北滬尾RC公式訪問の報告

国際奉仕委員長 白鳥 厚夫

4月26日（金）、7周年授与夜会に、西山幹事、吉田副会長、田邊会員、須永会員、私白鳥が出席致しました。

会場は、昨年と同じ福格大飯店でした。夜会は、昨年と同じ位の約200名出席され、盛大に執り行なわれました。

張慶忠会長の挨拶から始まり、各第3520地区のお歴々・林さんがお祝いを述べられ、当クラブとして白鳥が飯田会長の代理として「お祝いと、台北滬尾RC・神奈川東RCの友好を益々発展する事を祈っている」ことを述べ、親書を台北滬尾RCの葉文源幹事、及び花進財国際主委へ手渡しました。

我々滞在中は、例年のように空港からのお迎えから始まり、食事・移動の車等、多大な熱烈な歓迎を受けました。



我が国では、「裸の王様」で芥川賞を受賞した小説家「開高健」がおり、世界中を旅し、秘境の釣りを紹介、「オーパ!」「フィッシュ・オン」などの作品を世に送り出しています。

「釣り好き人間」の私が、釣りのジャンルの異なる“開高 健”に惹かれる思いがあり、釣りの原点に戻って、自分との釣りの違いを見つけてみようとして、「彼の釣とは・・・」を調べてみました。本日は彼の対談集の中からその一端を紹介します。

釣り好きの作家「吉行淳之介」との対談の中で、彼はこんなことを話しています。

「オレは心に傷がないと釣りに行かない。例えばね、私にもソウウツ症の不定期なサイクルがあるけど、この間、69年の時にひどいサイクルが回ってきて、もう人間に会うのもイヤ、女房見るのもイヤ、子どもの顔を見るのもイヤ、活字見るのもガマンならない、何もかもイヤってんで、朝から晩まで酒飲んでたんです。このままオレは海綿みたいに酒に浸って死んでいくんじゃないかと思ったけど、ある日、ふとアラスカへサケ釣りに行こうと思いついた。ムラムラときたら、もう矢も楯もたまらなくなって、アラスカに行っちゃった。」

「そういう時の釣りっていうのは、信者の人が教会やお寺に行くような役割を果たしてくれるんじゃないだろうか。」

「こちらは釣れても釣れなくてもいい、当たってくれさえすればいい。アラスカの水って冷たいんだ、六月といっても氷河の雪解け水だからね。」

「当たりがあるまで奇々怪々なる妄念妄想でヘトヘトになる。何のためにこんなとこまで釣りに来たのかわからなくなってくる。ところがね、サケがドンと当たってくると、一瞬、そういう妄想がフーと全部消えてしまって、あとはもう、光り輝くばかりに充実した虚無です。」

「ところが、釣れないとなるともう悲慘の極みだ。13時間やっても一回の当たりも、何もない。ただもう東西南北も見当つかないツンドラの荒野でしょう。川は冷たいは、風は吹くは、雨は降って来るは、それがアラスカの雨であり、アラスカの風でしょう、骨身にしむよぬ…。で、何もないとすれば自分の妄想をゼロにまで落ち込んだ無気力状態と一緒にそのまま宿に持ち帰らなくちゃいけない。オレはサケにも見離されたのか。もう、トコトンダメなんじゃないか、ということ悟られるし、この辛さつたらないなあ。」

「釣れなくても、魚がちょこっとかすってくれれば、もうそれで満足っていう気持ちになるね。一方、精神が充実していて、なんとか世の中をうまく渡っていけるような状態にある時に魚釣りに行っても、ちっともおもしろくない。釣れたってちっともおもしろくない、魚に対して傲慢になっちゃう。」

「小さいじゃないとか、形が悪いんじゃないとか、文句ばかりつけたくなる。こっちが最低の時に釣れた一匹の魚ってのは、それに比べると、とってもありがたい。女房が、いくらどんなことを言ってくれても、あれ以上の慰めを提供出来ないなあ。」

非凡で酒好きの彼が燃える暖炉の炎を見つめ、釣り好きな友人にウイスキーを飲みながら語ったかのような彼の本音の話、「開高健」の「魚釣り」の神髄を語る言葉に思えます。

シベリヤの奥地に入り込み、DNAに摺り込まれたわずかな狩猟本能でイトウを釣っていた凡人の私とは違って・・・。

クラブ会員の広場

「東京湾近海でこんなシーンに出遭いました」

船上カメラマン 小池 将夫



慕進！高速ジェット船（東京湾口）



のどかな～ 葉山の沖



これ、横浜港の景色ですよ！



本船航路は大混雑



東京湾の代表的な底引網漁



お～い！無賃乗船だぞ！！

◎次週《5月17日》⇒《5月19日》移動例会

次回《5月19日》の予定

春の家族会